

都会との差を埋める 地方のブロードバンド事情

都会では当たり前に見えるブロードバンドも、全国にはまだ利用できない地域が多い。そうした地域では、地元の働きかけでブロードバンドを呼び込む動きが進行中だ。

（ユーザー数とコストのバランスを埋める熱意）

日本でADSLがスタートした当時、日本のブロードバンド化は、光ファイバーが普及する10年以上先だと思われていた。ところが、'01年にYahoo! BBが激安価格でサービスを始めたところから、ADSLのサービスエリアは急激に広がり、日本のブロードバンド化は予想以上のスピードで進行。ブロードバンド利用者もCATVやFTTHと合わせ、いまや1000万家庭を超えている。

とはいえ、右図のように市町村レベルでカウントしても、ブロードバンドが利用できない地域は数多く残っている。都市部が広がる埼玉県や千葉県が全市町村で利用できる一方、山間部が多い県には、使える市町村の方が少ないところもある。そうした中、山間部の多い島根県で、地方自治体の支援によりほとんどの市町村がブロードバンド化を実現しているのは注目だ。

また、ブロードバンド化の実現に向けて、地元の人たちが活動する例も増えている。右に紹介したのはそうした例の一部だが、成功したケースに共通するのは地元の熱意があること、ユーザー数とコストのバランスが、ある程度確保できている点だ。八丈島の場合には、千人以上の署名があったほか、地元団体の普及活動が活発で、サービス開始後にユーザーが増える見込みが高い。また北海道のケースでは、1アクセスポイントあたり10人前後でも、コストが回収できる仕組みになっている。

テレビやラジオ、電話など、過去にあったメディアは、いずれも10%まで普及すると、そこから先は加速度的に広がってきている。現在10%近くまで達したブロードバンドも、同じような道をたどるはず。いまはまだブロードバンド化が進んでいない地域でも、熱意を持つ人の力をアイデアをきっかけに、これまで以上のスピードで進んでいくに違いない。

ADSL・FTTH両方の誘致を目指す

① 山口県・周防大島

周防大島内にある4町にブロードバンドを引くために「周防大島ブロードバンド化推進チーム」が2002年から活動を続けている。現在では、ADSL、光ファイバー両方の導入に向けて、地区別にさまざまなアンケート調査や通信業者への働きかけを行っている。



▽ 81871 周防大島ブロードバンド推進チーム
<http://www.towacho.com/user/abb/>

ADSL業者への助成金で普及促進

③ 島根県

'01年までブロードバンド化があまり進んでいなかった島根県では、プロバイダに対するADSL助成金制度を設定。この制度を利用して、地域プロバイダが相次いでADSLサービスをスタートさせ、現在では県内ほぼすべての市町村で、ADSLサービスが利用できるようになっている。

市が直接ADSLサービスを開始!

⑤ 大分県・津久見市

現在では、市中心部だけがADSL対応となっているが、津久見市自体がプロバイダとなることになり、来年からADSLサービスをスタートさせる。市内にある4カ所のNTT取寄局全部でサービスを行い、長距離対応のDSLも活用し、ほぼ市内全域をカバーできる予定。

地元の事業者が県全域をカバー

② 兵庫県

兵庫県の地元プロバイダ「h555.net」が、県内全域ADSL化を目指してエリアを積極的に拡大。現在では、県内すべての市町村でADSLが利用できるようになっている。今後もこれまで東対岸のNTT取寄局で徐々にADSLサービスをスタートさせる予定だ。

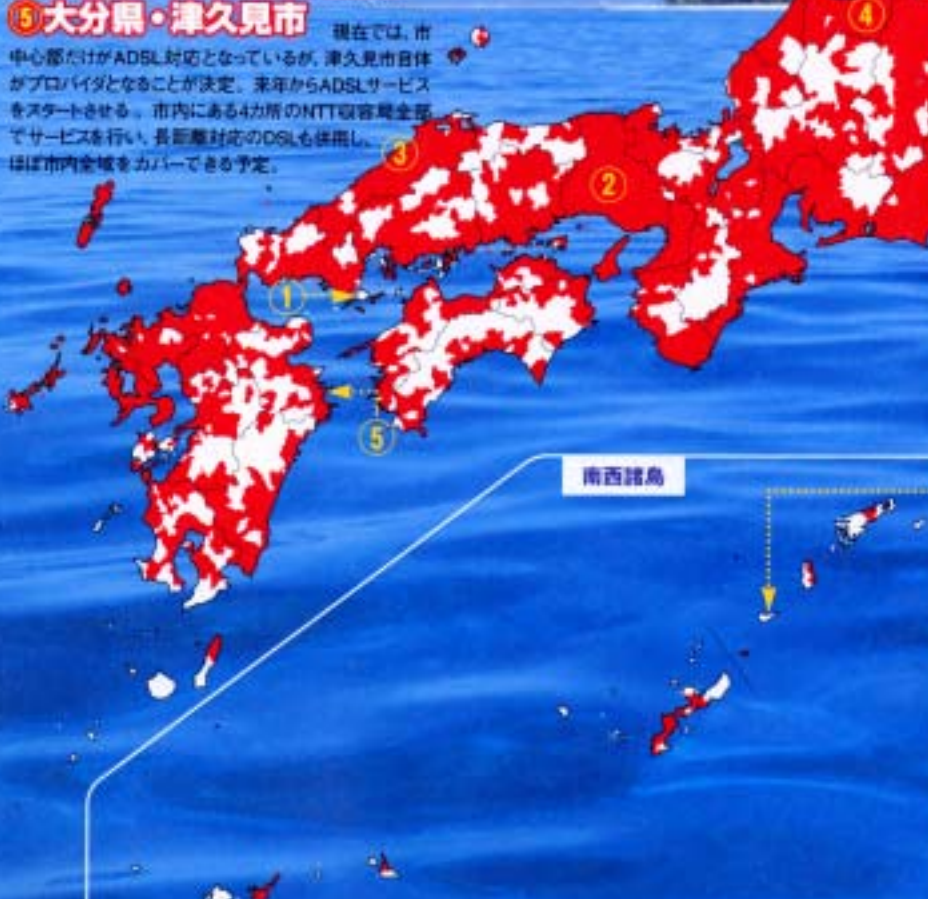


▽ 81872 h555.net
<http://www.h555.net/>

CATV網が県内全域に行き渡る

④ 富山県

富山県内にあるケーブルテレビ各社がインターネット対応を求めた結果、山田村を除く全市町村でブロードバンドが利用できる。さらに、山田村でも来年ケーブルテレビ会社を設立することが決定。ブロードバンドサービスも同時に始まる予定だ。



無線LANの活用でブロードバンドを提供 北海道・網走地方

北見市にあるプロバイダ「北ネットサービス」が、ADSLが一般的ではなかった'00年3月から、地元で無線LANを使ったインターネットサービスを提供している。地元企業などに無線LANの基地局設置をお願いし、基地局と北ネットのサーバー間はNTTの光ファイバー回線で結ぶ仕組み。

現在エリア外の場所でも、アクセスポイントが決まり10人以上の利用者が集まると、北ネットが光ファイバー回線を用意してくれる。サービスは、北見市のほか常呂町や小清水町などADSLがカバーしていない町村へも広がっており、合計で約200人が利用中だ。個人なら、月

3854円から使えるため、北ネットには「光ファイバーより安い」「ADSLより安定している」との声が寄せられている。



野口建設内に設置されたデータ転送用設備。これらの設備を置いた会社は、北ネットクラブで利用できる。



協力会社の野口建設が、屋上に設置した無線LANアンテナ。このアンテナで、10AD無線LANユーザーをカバーする。



北ネットでは、北見市・網走市周辺の市町村で無線LANインターネットエリアを拡大中。

▽ 81873 北ネットクラブ
<http://www.knc.co.jp/>

孫社長への“直訴”がADSLを呼び込む! 東京都・八丈島

'02年の9月から、ブロードバンドを地元でも使いたいと願っていた人たちが「八丈島にブロードバンドを推進する会」を設立。ブロードバンド推進への署名を1308人分集めるなどの活動を行っていた。

その後、八丈町長を通じ東京都やNTTなどへ情報活動を行うと進行して、メンバーの1人がソフトバンクBBの孫正義社長にも、直接メールでYahoo! BB開通を要請。このメールが功を奏し、今年8月には孫社長自身が八丈島を来島。その場で来年4月のYahoo! BB開通を約束してくれた。

現在は、ソフトバンクBBの担当者と推進

する会のメンバーで協力しながら、来年春のYahoo! BB開通に向けた準備が着々と進んでいる。



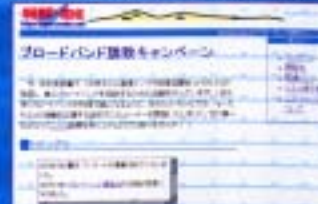
7月に行われた夏祭りでは、無線LANを利用したライブカメラ中継を展示。ブロードバンドがもたらすメリットを多くの人が体験した。



▽ 81875 八丈島にブロードバンドを推進する会
http://www.8jyo.net

ADSL導入に向け署名活動を実施! 鹿児島県・沖永良部島

島内にある2町と地元企業などが協力して、ブロードバンド化を推進する団体「e-えらぶ」を設立。7月からブロードバンド化の署名活動を開始し、約800人の署名が集まった。今後はこの署名を元に、ADSL事業者などに対してADSL導入を要請していく予定だ。



▽ 81874 e-えらぶ
<http://www.erabu.net/e-erabu/>



ソフトバンクBBの孫社長が8月に来島。八丈島へブロードバンドが早くも届くことについて、熱く語っていた。

文：小川真一
写真提供：野口建設、八丈島にブロードバンドを推進する会